

令和6年6月26日
島根県健康福祉部青少年家庭課
児童・女性相談スタッフ
児童・女性相談係
担当： 深田、福代
電話：0852－22－6393

令和5年度 児童相談の状況について

1 児童相談の対応状況

令和6年6月
青少年家庭課

相談種別	令和3年度				令和4年度				令和5年度			
	○児童相談所		◇市町村		○児童相談所		◇市町村		○児童相談所		◇市町村	
養護相談 (虐待相談を含む)	1,269	47.4%	557	54.0%	1,138	48.0%	697	68.5%	1,247	50.3%	694	81.2%
保健相談	1	0.0%	7	0.7%	0	0.0%	3	0.3%	1	0.0%	3	0.4%
障がい相談	1,071	40.0%	42	4.1%	955	40.3%	19	1.9%	982	39.6%	10	1.2%
非行相談	48	1.8%	5	0.5%	48	2.0%	5	0.5%	55	2.2%	3	0.4%
育成相談	246	9.2%	247	23.9%	204	8.6%	165	16.2%	173	7.0%	34	4.0%
その他	45	1.7%	174	16.9%	25	1.1%	128	12.6%	22	0.9%	111	13.0%
合計	2,680	100.0%	1,032	100.0%	2,370	100.0%	1,017	100.0%	2,480	100.0%	855	100.0%

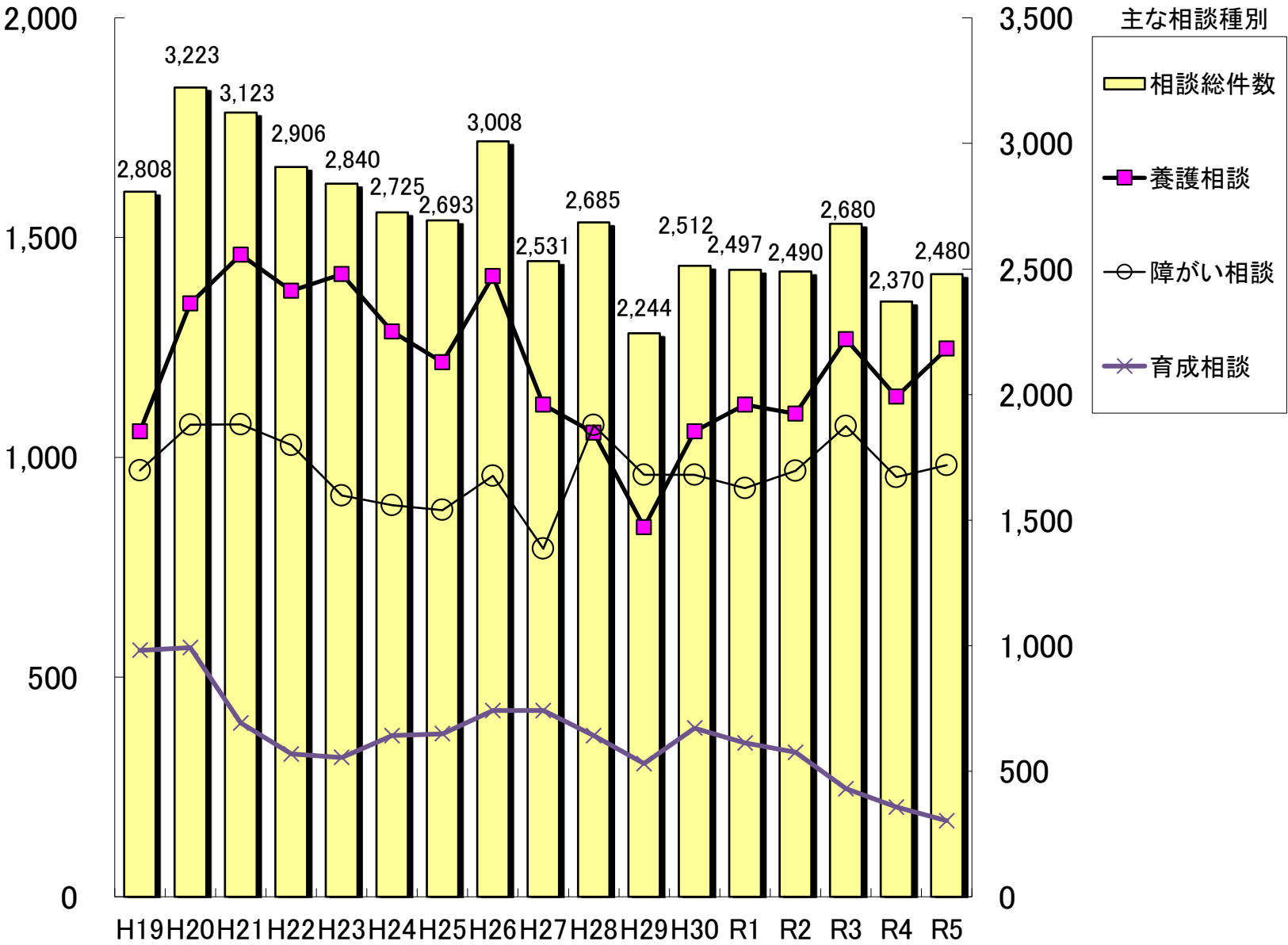
※小数第二位四捨五入

- 令和5年度の対応件数は、児童相談所で2,480件（＊前年度比：110件増/約4.6％増）。市町村は855件（＊前年度比：162件減/約15.9％減）
- 相談種別は、児童相談所は養護相談が最も多く、次いで障がい相談、市町村では養護相談が最も多く、次いでその他の相談となっている。

相談種別件数
(折線グラフ)

児童相談所における児童相談対応状況の推移

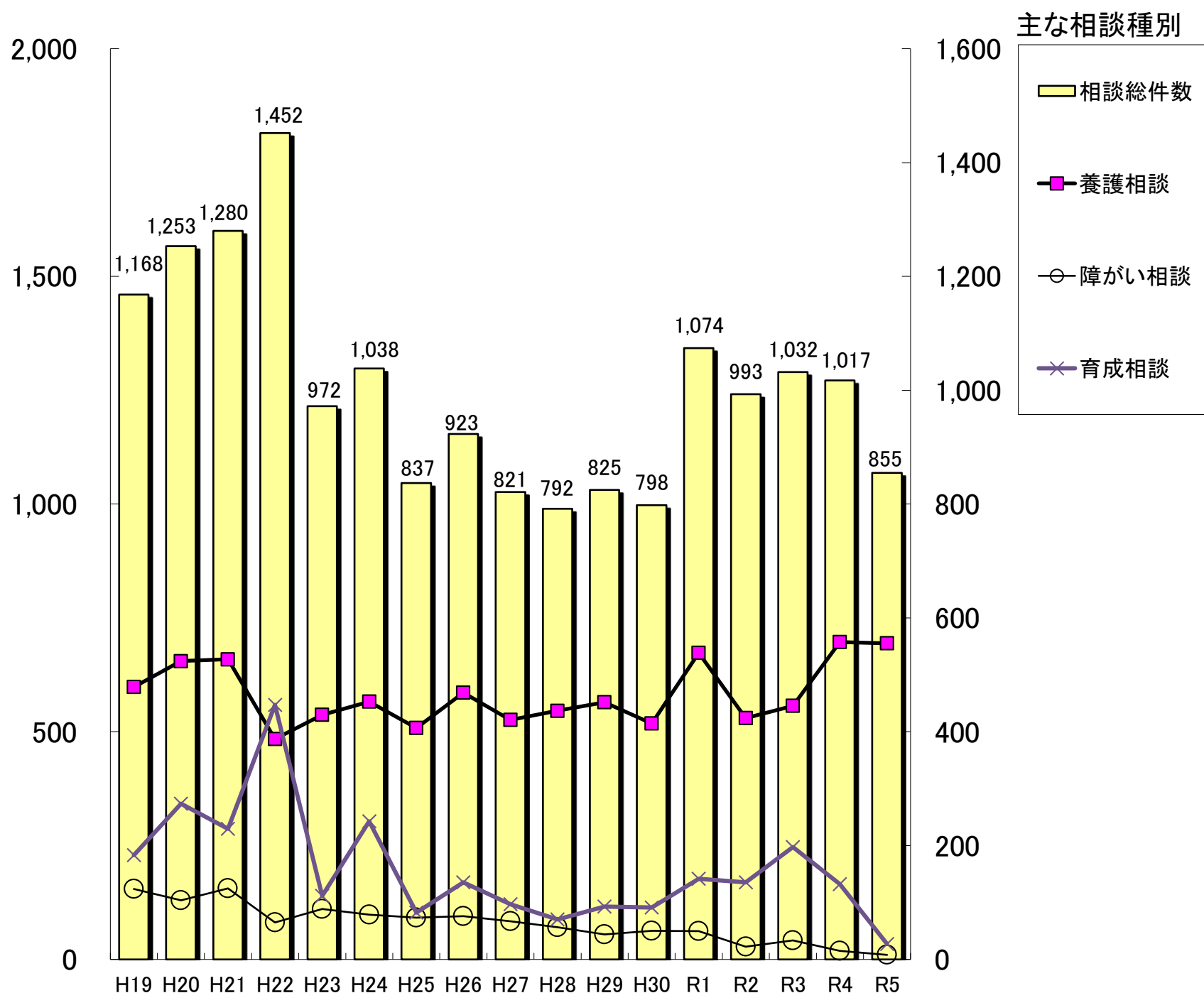
総件数(棒グラフ)



相談種別件数
(折線グラフ)

市町村における児童相談対応状況の推移

総件数(棒グラフ)

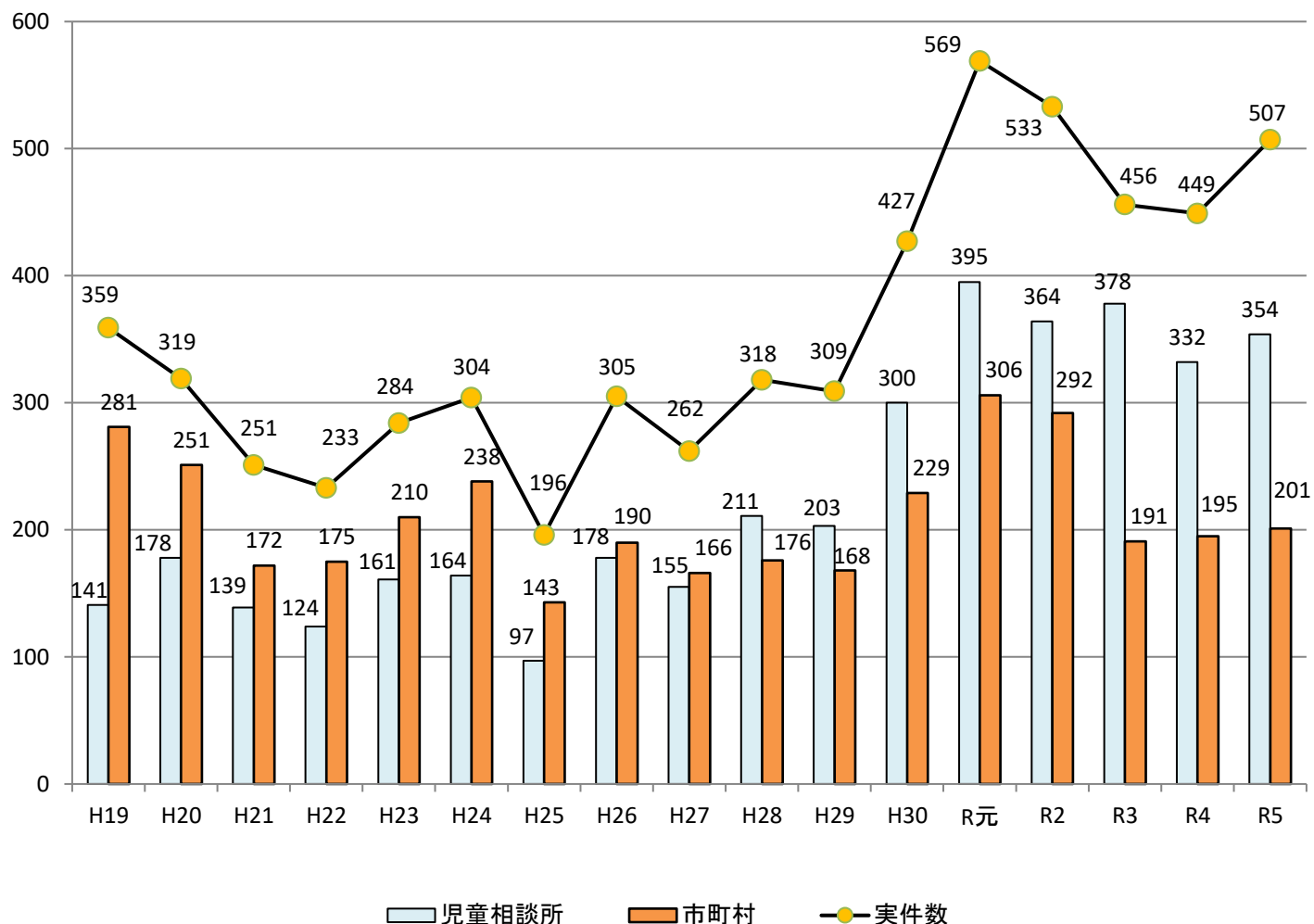


《参考》相談の種類及び主な内容

1. 養護相談	父又は母等保護者の家出、失踪、死亡、離婚、入院、稼働及び服役等による養育困難児、迷子、児童虐待等の環境的問題を有する児童、養子縁組に関する相談
2. 保健相談	低出生体重児、虚弱児、ツベルクリン反応陽転児、内部機能障がい、小児喘息、その他の疾患(精神疾患を含む)を有する児童に関する相談
3. 障がい相談	肢体不自由、視聴覚障がい、言語発達障がい、重症心身障がい、知的障がい、発達障がいに関する相談
4. 非行相談	
ぐ犯行為等相談	虚言癖、浪費癖、家出、浮浪、乱暴、性的逸脱等のぐ犯行為、問題行動のある児童、警察署からぐ犯少年として通告のあった児童等に関する相談
触法行為等相談	触法行為があったとして警察署から通告のあった児童、犯罪少年に関して家庭裁判所から送致のあった児童に関する相談
5. 育成相談	性格行動、不登校、適正(進学適性・職業適性・学業不振等)、育児・しつけに関する相談
6. その他の相談	上記のいずれにも該当しない相談

2 児童虐待相談の状況

○児童虐待相談対応(認定)件数の推移



○令和5年度の児童虐待相談の対応(認定)件数は、児童相談所が354件(前年度比約6.6%の増)、市町村が201件(前年度比約3.1%の増)となった。

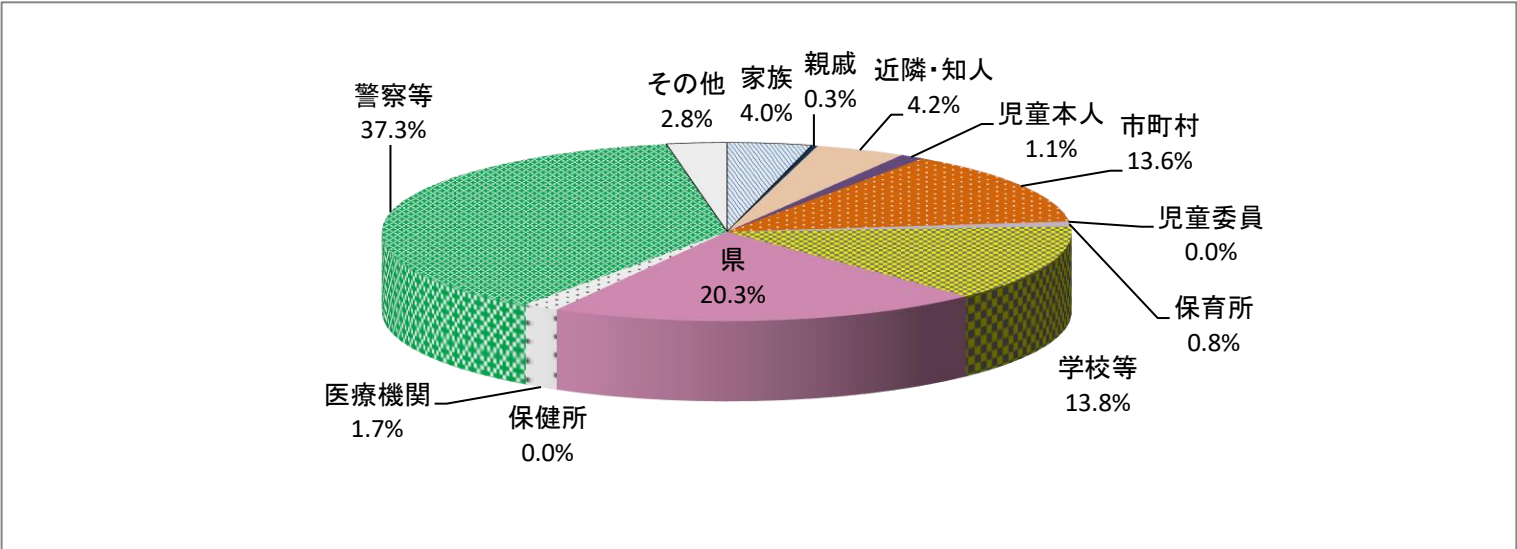
○児童相談所と市町村で連携して関わった重複ケース48件を除くと、県内で新たに児童虐待相談として対応(認定)した件数は507件で前年度比約12.9%の増となった。

- ・令和3年度：456件《378件(児童相談所分) + 191件(市町村分) - 113件(重複分) = 456件》
- ・令和4年度：449件《332件(児童相談所分) + 195件(市町村分) - 78件(重複分) = 449件》
- ・令和5年度：507件《354件(児童相談所分) + 201件(市町村分) - 48件(重複分) = 507件》

(1)－ 1 受付経路(児童相談所)

区分	家族	親戚	近隣・知人	児童本人	市町村	児童委員	保育所	学校等	県	保健所	医療機関	警察等	その他	計
R3年度	41	2	15	4	56	0	3	54	70	0	10	107	16	378
	10.8%	0.5%	4.0%	1.1%	14.8%	0.0%	0.8%	14.3%	18.5%	0.0%	2.6%	28.3%	4.2%	100.0%
R4年度	26	4	10	2	40	0	4	33	69	0	5	123	16	332
	7.8%	1.2%	3.0%	0.6%	12.0%	0.0%	1.2%	9.9%	20.8%	0.0%	1.5%	37.0%	4.8%	100.0%
R5年度	14	1	15	4	48	0	3	49	72	0	6	132	10	354
	4.0%	0.3%	4.2%	1.1%	13.6%	0.0%	0.8%	13.8%	20.3%	0.0%	1.7%	37.3%	2.8%	100.0%

○令和5年度 児童相談所における児童虐待相談受付経路

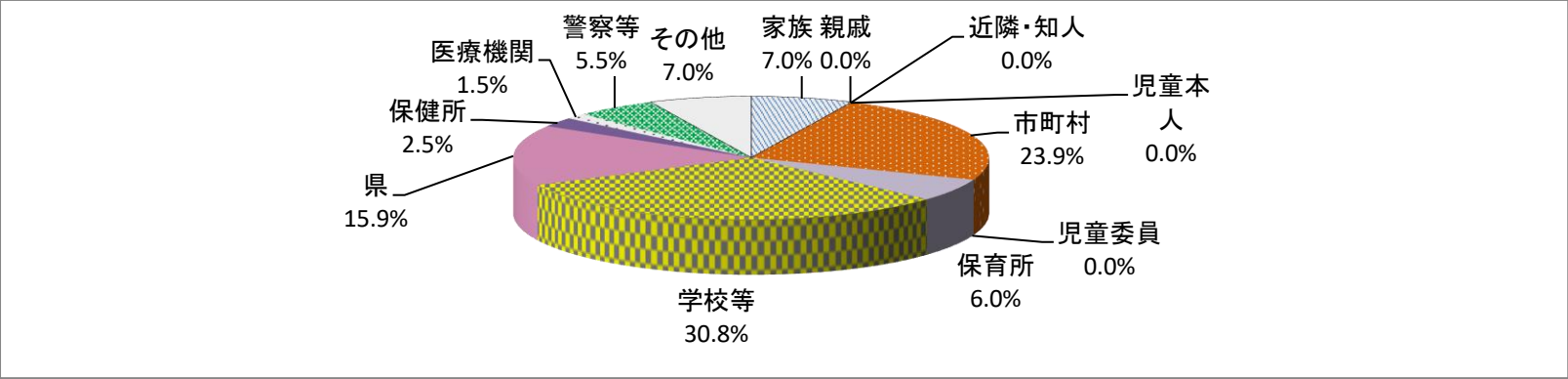


- 児童相談所に寄せられた児童虐待相談は、警察等からが132件（前年度比9件の増）で最も多く、全体に占める割合は37.3%となっている。次いで県、学校等、市町村からとなっている。
- 児童相談所への通告件数については、令和3年度が724件、令和4年度が786件、令和5年度が816件となっており、前年度に比べ30件（約3.8%）増加している。

(1)－ 2 受付経路(市町村)

区分	家族	親戚	近隣・知人	児童本人	市町村	児童委員	保育所	学校等	県	保健所	医療機関	警察等	その他	計
R3年度	13	0	5	0	51	0	4	42	47	0	0	15	14	191
	6.8%	0.0%	2.6%	0.0%	26.7%	0.0%	2.1%	22.0%	24.6%	0.0%	0.0%	7.9%	7.3%	100.0%
R4年度	9	0	1	0	38	0	29	34	49	0	2	20	13	195
	4.6%	0.0%	0.5%	0.0%	19.5%	0.0%	14.9%	17.4%	25.1%	0.0%	1.0%	10.3%	6.7%	100.0%
R5年度	14	0	0	0	48	0	12	62	32	5	3	11	14	201
	7.0%	0.0%	0.0%	0.0%	23.9%	0.0%	6.0%	30.8%	15.9%	2.5%	1.5%	5.5%	7.0%	100.0%

○令和5年度 市町村における児童虐待相談受付経路

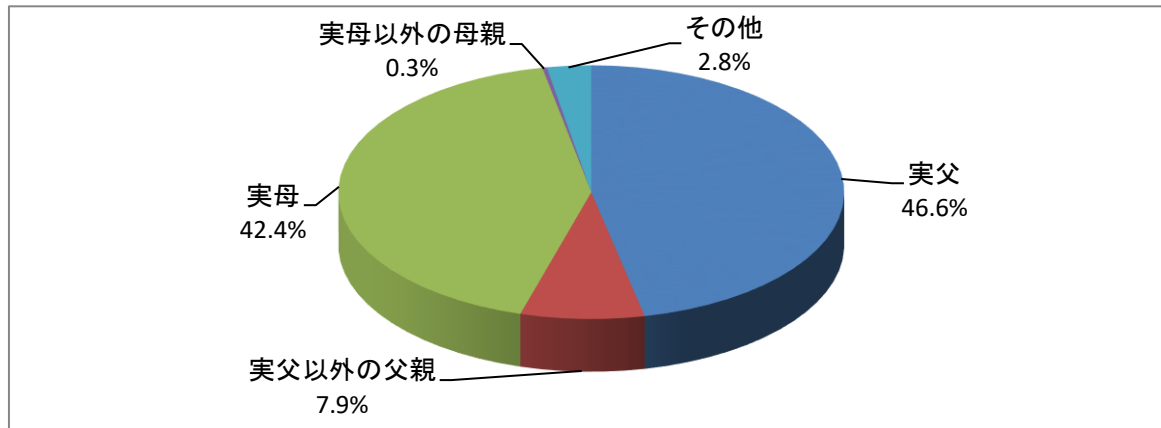


- 市町村に寄せられた児童虐待相談は、学校等からが最も多く、次いで、市町村（他市町村、他部署等）、県（児童相談所等）からとなっている。

(2)-1 主な虐待者(児童相談所)

区分	実父		実父以外の父親		実母		実母以外の母		その他		計	
R3年度	165	43.7%	26	6.9%	166	43.9%	4	1.1%	17	4.5%	378	100.0%
R4年度	136	41.0%	20	6.0%	162	48.8%	1	0.3%	13	3.9%	332	100.0%
R5年度	165	46.6%	28	7.9%	150	42.4%	1	0.3%	10	2.8%	354	100.0%

○主な虐待者

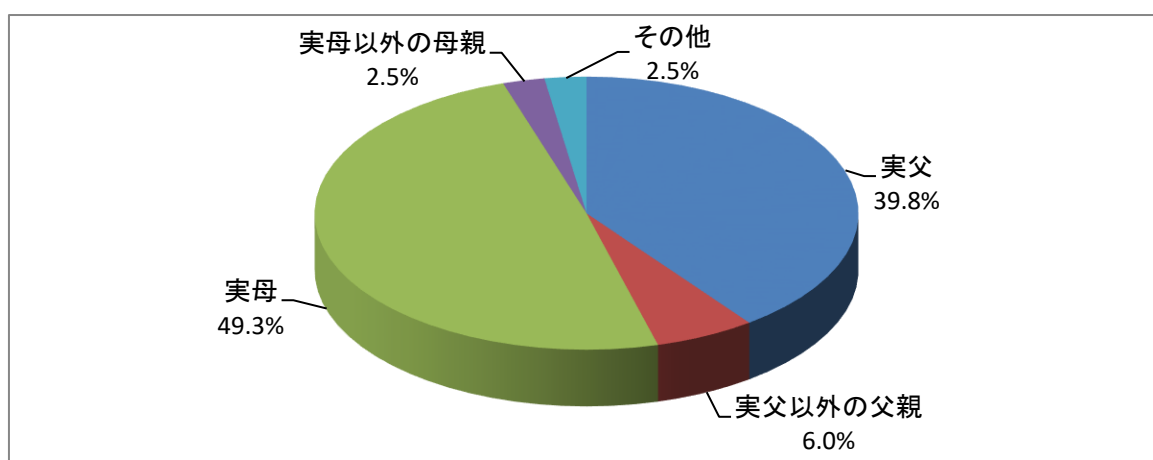


○主な虐待者は、実父が165件（46.6%）と最も多く、次いで実母が150件（42.4%）、実父以外の父親が28件（7.9%）となっている。

(2)-2 主な虐待者(市町村)

区分	実父		実父以外の父親		実母		実母以外の母		その他		計	
R3年度	69	36.1%	11	5.8%	100	52.4%	1	0.5%	10	5.2%	191	100.0%
R4年度	83	42.6%	7	3.6%	93	47.7%	0	0.0%	12	6.2%	195	100.0%
R5年度	80	39.8%	12	6.0%	99	49.3%	5	2.5%	5	2.5%	201	100.0%

○主な虐待者

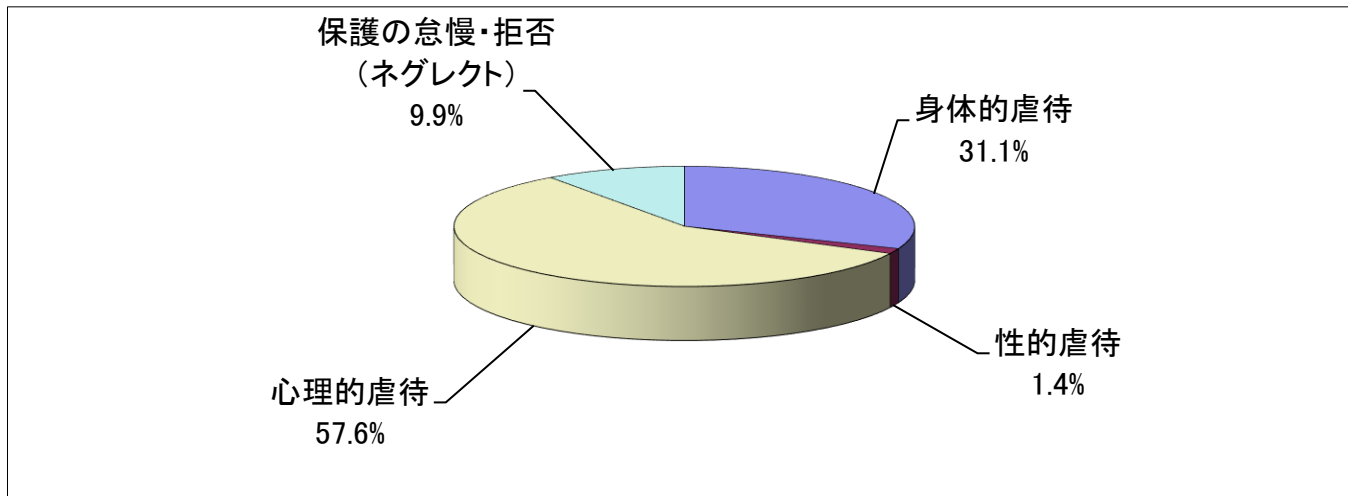


○主な虐待者は、実母が99件（49.3%）と最も多く、次いで実父が80件（39.8%）、実父以外の父親12件（6.0%）となっている。

(3)-1 虐待種別(児童相談所)

区分	身体的虐待		性的虐待		心理的虐待		保護の怠慢・拒否 (ネグレクト)		計	
R3年度	91	24.1%	1	0.3%	205	54.2%	81	21.4%	378	100.0%
R4年度	79	23.8%	5	1.5%	186	56.0%	62	18.7%	332	100.0%
R5年度	110	31.1%	5	1.4%	204	57.6%	35	9.9%	354	100.0%

○虐待種別

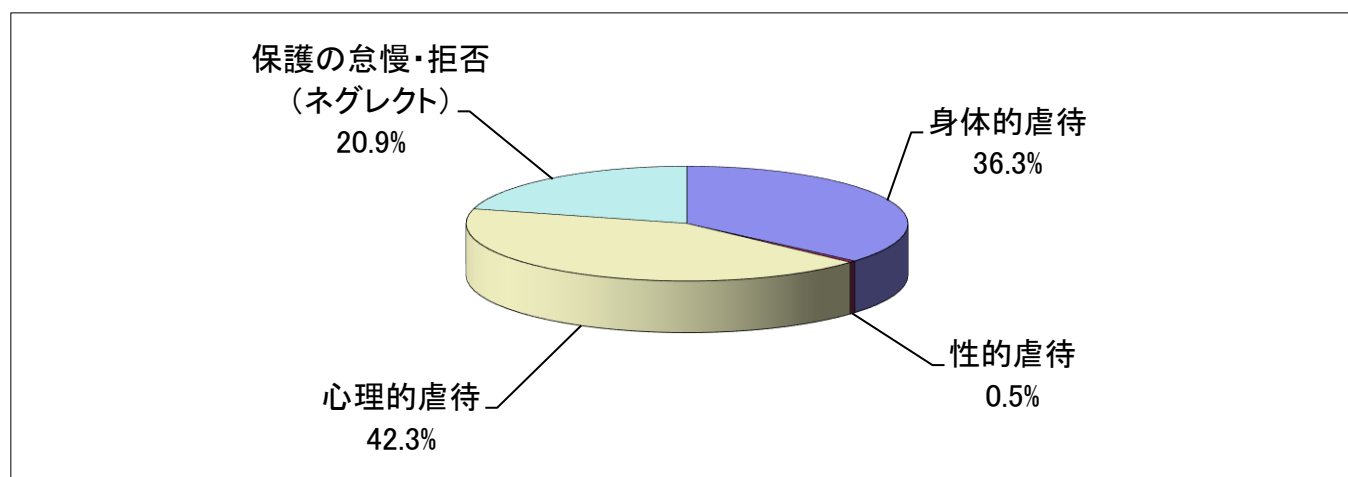


○虐待の種別を見ると、心理的虐待が204件（うち面前DV等が60件）（57.6%）で最も多く、次いで、身体的虐待が110件（31.1%）、保護の怠慢・拒否（ネグレクト）が35件（9.9%）となっている。

(3)-2 虐待種別(市町村)

	身体的虐待		性的虐待		心理的虐待		保護の怠慢・拒否 (ネグレクト)		計	
R3年度	51	26.7%	1	0.5%	94	49.2%	45	23.6%	191	100.0%
R4年度	57	29.2%	0	0.0%	97	49.7%	41	21.0%	195	100.0%
R5年度	73	36.3%	1	0.5%	85	42.3%	42	20.9%	201	100.0%

○虐待種別

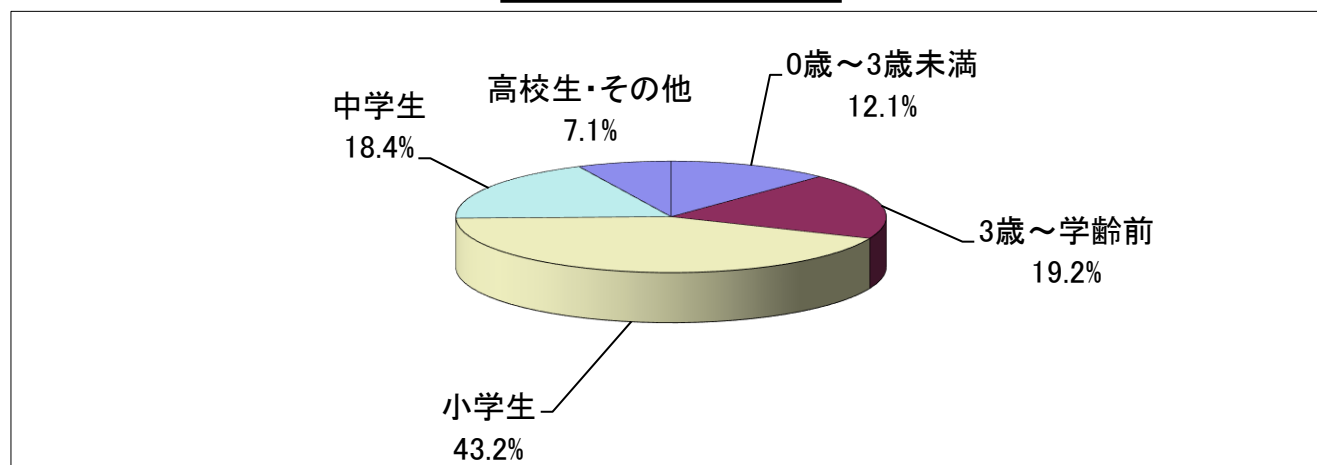


○虐待の種別を見ると、心理的虐待が85件（うち面前DV等が27件）（42.3%）で最も多く、次いで、身体的虐待が73件（36.3%）、保護の怠慢・拒否（ネグレクト）が42件（20.9%）となっている。

(4)-1被虐待者の年齢(児童相談所)

区分	0歳～3歳未満 (0～2歳)		3歳～学齢前 (3～6歳)		小学生 (7～12歳)		中学生 (13～15歳)		高校生・その他 (16～18歳)		計	
R3年度	52	13.8%	89	23.5%	145	38.4%	65	17.2%	27	7.1%	378	100.0%
R4年度	46	13.9%	93	28.0%	116	34.9%	58	17.5%	19	5.7%	332	100.0%
R5年度	43	12.1%	68	19.2%	153	43.2%	65	18.4%	25	7.1%	354	100.0%

○被虐待者の年齢

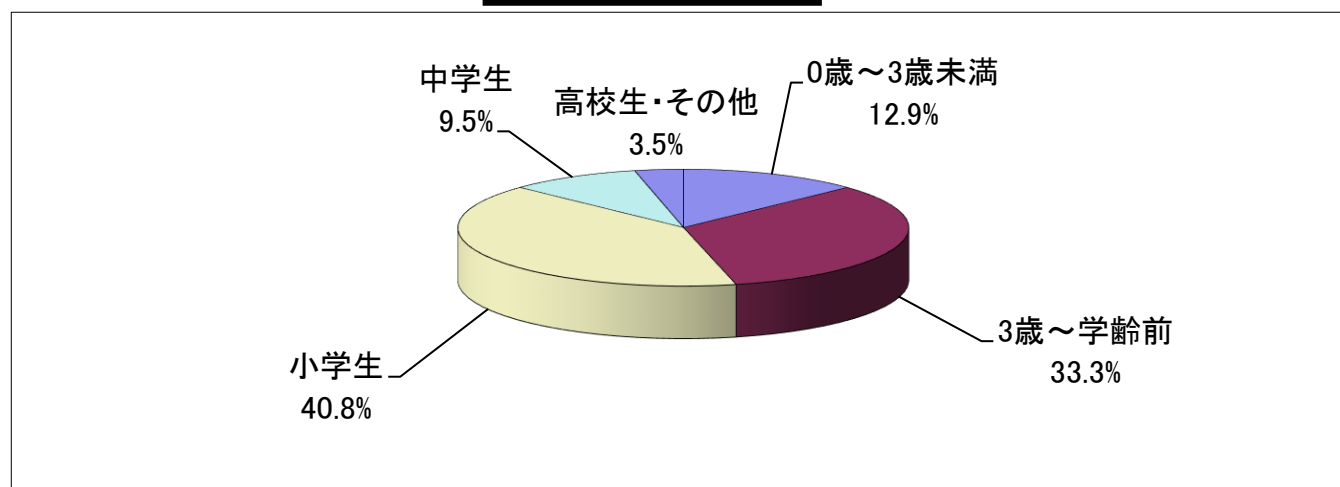


○虐待を受けている子どもの年齢をみると、小学生が153件（43.2%）、3歳～学齢前が68件（19.2%）、中学生が65件（18.4%）、0歳～3歳未満が43件（12.1%）等となっている。

(4)-2 被虐待者の年齢(市町村)

区分	0歳～3歳未満 (0～2歳)		3歳～学齢前 (3～6歳)		小学生 (7～12歳)		中学生 (13～15歳)		高校生・その他 (16～18歳)		計	
R3年度	36	18.8%	49	25.7%	67	35.1%	29	15.2%	10	5.2%	191	100.0%
R4年度	36	18.5%	60	30.8%	69	35.4%	21	10.8%	9	4.6%	195	100.0%
R5年度	26	12.9%	67	33.3%	82	40.8%	19	9.5%	7	3.5%	201	100.0%

○被虐待者の年齢



○虐待を受けている子どもの年齢をみると、小学生が82件（40.8%）、3歳～学齢前が67件（33.3%）、0歳～3歳未満が26件（12.9%）、中学生が19件（9.5%）等となっている。